



No.3

阿蘇草原再生ニュースレター  
2004.7月

ハナシノブ (ハナシノブ科) :  
梅雨の時期に薄紫色の可憐な花を咲かせる。阿蘇以外にも自生しない希少な植物で、阿蘇の初夏を代表する山野草となっている。環境省レッドデータブック「絶滅危惧1A類」

## 阿蘇の草原再生をめざして

# 草原管理手法に関する実証試験がはじまりました

「草原管理手法に関する検討部会」が進める「実証試験」は、阿蘇の草原に生育する希少植物や生物多様性の保全に向けて、効果的な草原の維持管理の方法とその効果を検討・予測することを目的として行います。保全や再生の必要性が高い草原について、実際にさまざまな維持管理を行いながら、草原の変化を追跡調査していくものです。

具体的には、一の宮町の北外輪山上と波野村の草原に試験地を借り受け、その中に、草刈りを行う時期や野焼き実施の有無など、管理条件が異なる組

み合わせの調査区を設定して、植生や土壌の変化を調べていきます。

地元の専門家や研究機関、パークボランティアや森林組合、土地所有者や牧野組合などさまざまな方々の協力を得て、調査区の草刈りや植生調査を進めています。

なお、牧野内の小規模点在樹林除去実施地やモーモー輪地切り実施地の植生・土壌等の変化の追跡、長期間放置された牧野の野焼き再開前の植生調査なども続けて行っています。



さまざまな管理手法の効果を検証するため、7月10日、11日には実証試験地内の調査区において草刈りを実施しました。

## 実証試験の流れ

